

各 位

会 社 名 太平化学製品株式会社

 代表者名 代表取締役社長 門田 豊
 (コード番号・4223)

 問合せ先 経営管理部長 坂田 昌繁
 電 話 048 - 222 - 1122

業績予想の修正(連結及び個別)に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年3月10日付で公表いたしました平成26年3月期(平成25年4月1日～平成26年3月31日)の連結並びに個別の業績予想について下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

・ 業績予想の修正について

(1) 連結業績予想数値の修正

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,100	△ 130	△ 80	△ 60	△ 4.88
今回修正予想 (B)	5,089	△ 183	△ 117	△ 100	△ 8.20
増 減 額(B)－(A)	△ 11	△ 53	△ 37	△ 40	
増 減 率 (%)	△ 0.2	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	5,152	△ 258	△ 234	△ 220	△17.94

(2) 個別業績予想数値の修正

平成26年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,090	△ 80	△ 60	△ 4.88
今回修正予想 (B)	5,081	△ 114	△ 98	△ 8.05
増 減 額(B)－(A)	△ 9	△ 34	△ 38	
増 減 率 (%)	△ 0.2	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	5,145	△ 236	△ 221	△18.01

(3) 修正の理由

1. 連結業績について

売上高は一部製品が前回予想を若干下回る見通しとなりました。また、利益面においては固定費の削減は計画どおり実施できたものの、原材料や電気料金値上げによる生産コストの上昇に加え、2月の記録的な豪雪による影響で一部製品の生産ラインが停止したことによる機会損失が発生し、新規投資を行った設備の稼働が遅れた影響で、売上高、営業利益、経常利益において前回予想を下回る見通しとなり、業績予想を修正するものです。

2. 個別業績について

個別業績の修正理由は、連結業績予想と同様であります。

以上